

地域求職者 雇用奨励金

地域雇用開発助成金

地域求職者雇用奨励金とは

雇用情勢の厳しい地域等において、事務所を設置・整備し、それに伴い地域に居住する求職者等を雇い入れるとき、対象者の人数及び事業所の設置・整備の費用に応じ、事業主に対して一定額を助成します。

受給できる事業主

- ◎雇用保険の適用事業の事業主。
- ◎雇用開発促進地域に居住する求職者等を継続して雇用する労働者(雇用保険の一般被保険者)として、3人(創業に限り2人)以上雇い入れること。
- ◎当該事務所の事業の用に供する施設または設備の設置・整備費用の合計額が300万円以上であること。

受給できる額

対象労働者数及び事業所の設置・整備に要した費用の額に応じて1年ごとに3回支給。

設備・整備に要した費用	受給できる額
300万円以上 1,000万円未満	40万円～120万円
1,000万円以上 5,000万円未満	180万円～540万円
5,000万円以上	300万円～900万円

※記載内容は、平成22年2月現在のものです。

詳細については、最寄りの労働局またはハローワークへお問い合わせください。

Tomopal

トモバル

2010.3
Vol.2

大野・竹田・佐伯地区
同友会

特集

もつと、夢の先へ

- 特集:小売業源屋(みなもとや).....1
- 養鶏業(有)三本松種鶏場
金属加工業(株)二豊鉄工所
- 心がうるおう「ちょっと」いいコトいい話.....4
- けんしん同友会企業紹介.....5
- ウチのカリスマ.....6

夢を追いかけて、夢を成し遂げて来たさまざまな業種のリーダーたち。仕事の現場では、もっと「夢の先」を目指して、すでに動き出していた。

もっと、夢の先へ

今、地域の高齢者に喜ばれることは、酒よりも介護用品なんです。



大野同友会

豊後大野市三重町
源屋(みなもとや)
取締役

伊藤逸男氏

DATA

〒豊後大野市三重町大字市場1339
☎0974-22-0039
営業 9:00~21:00
(化粧品店 9:00~19:00)
☎1月1日(化粧品店 毎週日曜)
☑有り

豊後大野市三重町の中心部にある、昔ながらの商店街。以前のような活気はなくなったものの、まだ、老舗の商店は健在で地域の人々の生活に役立っています。

なかでも明治12年創業、老舗中の老舗である酒の小売業「源屋」は、4年前から新たな事業を始め、商店街に新風を吹かせたようです。その新事業とは介護用品のレンタルと販売、そして、別棟に建つコスメティック(化粧品)の店。介護用品は息子さん、化粧品は奥様が担当する

というファミリービジネスを展開しています。

「最初は息子も酒屋を継ごうとしてくれていましたが、もう、これからは少子高齢化の時代。今この地域で必要とされているのは、お酒よりも介護ではないかと考えたんです」と話すのは、伊藤逸男氏、源屋5代目の店主です。

酒の小売から介護用品を扱う店という、大きな転換のようですが、伊藤氏にとっては、これは自然な流れでした。昔なじみのお客さんも、もうほとんどが高齢となり、酒の配達に出かけて気付くのは介護の手助けの方。酒よりも、紙おむつを配達する方が、どれだけ喜ばれることかを、現場で感じ取っていたようです。

「私たち商人には定年がないからね。老舗に執着していると、時代に合わなくなっていることに気付けないんですよ。今は6代目を事業者として育てることがわたしの仕事だと思っています」と伊藤氏。自ら福祉用具専門相談員の資格を取り、お年寄りからの注文の電話があれば、夜遅くても紙パンツ1袋でも配達に出かけて行くといいます。「扱うものが違うだけで『源屋』の基本は変わりませんから」と笑う伊藤氏の信条は「心高身低」。志を高く、身は低く。この心得は、きっと6代目にも受け継がれていくことでしょう。



源屋の店内には、お酒とともに介護用品が並び、商品は個人から、豊後大野市、大分市内の病院、施設にも納めている。



お酒もまだまだ健在。独自に開発したヒット商品「愛する人はあなただけ」は、ここでしか買えない。

ここまで来れたのはいい出会いと、いい運に恵まれたからです。

竹田同友会

竹田市久住町
(有)三本松種鶏場 会長

荒牧 光氏

DATA

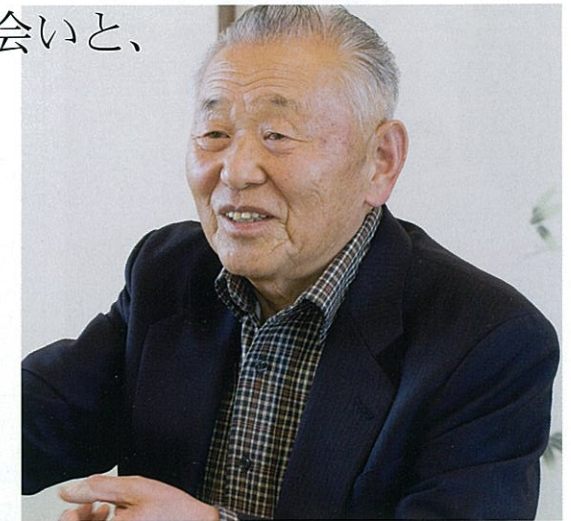
〒竹田市久住町漆ヶ津留246-2
☎0974-76-0185



のびやかな久住大地に、鶏が最高の状態でいられるように設計された鶏舎が並び、

久住白丹地区の大地に広がる養鶏場から、日本一を目指す品質の高い卵が生まれています。この地区の養鶏家が集う「協栄養鶏組合」は、ワクチン卵を一筋に生産してきました。新型インフルエンザが猛威をふるった昨今、ワクチン卵は社会に大きな貢献を果たしています。

40年以上、ひたすら「いい卵を作る」ことだけに邁進し、久住町が地場産業として誇れるまでに発展してきた「協栄養鶏組合」。この基礎を築いたのが組合長であり、三本松種鶏場会長である荒牧光氏です。元気ではっきり通る声、穏やかな表情で、笑みを絶やさぬ荒牧氏は、今、御年80歳。「人と運に恵まれました」と笑って話しますが、荒牧氏の道程と功績はとても運だけでは語れないことが、話をきくにつれわかってきます。昭和39年に熊本県菊池で行われた養鶏大講習会に出席した荒牧氏が、講師の柴田利男先生に出会ったことが組合結成のきっかけとなりました。先生の講演に感動した荒牧氏が先生を久住に招き、同志を募って4泊5日の講習会を開催。この時、荒牧氏はまだ血気盛んな35歳。15戸の農家で組合をスタートします。そして同年には熊本県のワクチンメーカー化血研(化学及血清療法研究所)と



出会い、ワクチン卵の生産と出荷が始まります。今のように情報があるわけでもない未知の世界に挑んだ荒牧氏を始め組合員はまだ30代の若さです。手探り状態の中で失敗や困難を繰り返し、ともすればバラバラになりそうな組合員をまとめながら、研究に研究を重ねて技術の向上を目指すのは、並大抵の努力ではなかったはずで

。「ここまでどり着けたのは、いい卵を作りたいというみんなの情熱と協力があったからこそ。いい人たちに出会い、いいことをしていると、人の運命はいい方向に回り始めるんですね。会長職に退いた今、プロ級の腕前のゴルフと、発芽玄米の健康食で、「生きることに専念しています」とおおらかに笑う荒牧氏は、まだまだ地域ではかかせない存在のよう。この若々しさと、今まで通りリーダー役として活躍を続けていくに違いありません。



衛生環境を考慮した鶏舎「ウィンドレス鶏舎」を設置し、より高品質なワクチン卵を目指す。

いい物を創り、技能を向上させ、次世代へ…。



佐伯地区同友会

佐伯市弥生
(株)二豊鉄工所 代表取締役

戸高信義氏

DATA

〒佐伯市弥生大字江良1836
☎0972-46-0851
🕒8:00~16:45
📅隔週土、日、祝日 📍有り

「鉄工所という名が付く通り、鉄に関することなら何でもやっていますよ」と語るのは戸高信義氏。

戸高氏率いる二豊鉄工所の印象は、イキがよく、若々しく、新鮮。まさに県南で獲れる魚のごとく。戸高氏の話がうかがうだけで、世の中が不景気ということさえ忘れてしまいそうです。それは、一重に戸高氏のトライ精神が作り上げてきたものです。

若干26歳にして個人で創業、3年後に法人化して会社を立ち上げて以来、常にとどまることなく、恐れることなく、前に進んで来ました。来るものは拒まずの精神で鉄に関する依頼があれば、持ち前の探究心と現場で培ってきた技術力で対応。その間、新たな技術を習得し、実績を重ねながら、さまざまな分野をも開拓してきました。創業から37年目。今では取引先も全国に展開。精密板金、機械加工、電装組立、塗装、装置組立、冷凍機修理等々で、あらゆる産業のニーズに応えています。

この、ひたすらトライし、前進する戸高氏の原動力は何なのでしょう。

「いい物を創り、技能を向上させ、次世代に続く

人たちのために伝えたいという思いです。そのためにも常に5年先の未来計画を立てること。長年事業をやっていると勘とコツがわかってくるんです。5年先のために今、何をやらなければならないのかということがね。」と熱く語る戸高氏は、モノ創りだけでなく、人創りに対しても取り組んでいます。社員への技能向上と合わせて、同業者と共に地域の鉄工所を担う若者たちに向けての指導と支援を行い、夢とエネルギーを与え続けているのです

「とにかく大分市に負けるなとみんなで頑張っているんですよ(笑)」

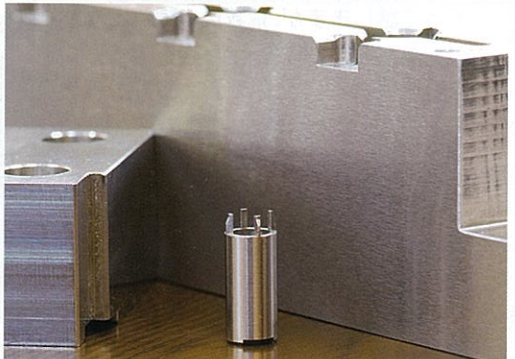
戸高氏の趣味は読書と美術館巡り。休日や出張時に空いた時間を利用して、興味ある作品を読み、いい美術館を回っているそうです。鉄を扱う力強い現場力に反して、常に新しいものを取り入れる、しなやかな感性の源をかいま見た気がします。



海崎工場で精密板金部品製造中。これからの担う社員は平均年齢28歳という若さ!!



戸高氏は常に現場を周り故障がないか、機械の「声」を聞いているという。



写真提供 披村啓二

春の散歩道

北風がだんだん遠のき、あたたかな

太陽がのぞき始めると、イソップ寓話の旅人のように、たくさん着こんでいた服を一枚一枚脱ぎ捨ててしまいたくなります。

セーターやコートを脱ぎ、身軽になったら、次はドアを開けてぶらり散歩はいかが？

春は散歩には最適な季節。温かい空気と、やわらかな日ざしの中でウォーキングならず、散歩を楽しんでみましょう。

散歩がウォーキングとちがうのは道草も、休憩もOKなこと。カメラを向けたり、スケッチをしたり、ベンチで休んだり、草原に寝ころんだり…。むしろ、そんな寄り道をまるごと楽しむのが、散歩の良さかもしれません。

えっ？ 散歩しようにも近くに散歩道がない？ いえいえ、道はどこにでもあるもの。ビルが並ぶ都市のストリート、新旧の店が並ぶ商店街、歩いたことのない路地でも、もちろん草が芽吹く土手でも、野の花が咲く田舎道でもいいのです。どこでも心のおもむくままに足に向けてみてください。

きつと、気持ちが解放されて、見るものすべてが新鮮に映るはず。こんな小さな冒険ができるのも、春の特権ですから。



人に愛され、地域に役立つ企業を目指して

■特殊肥料の製造販売・農業・自動車修理
有限会社 衛藤産業



自動車整備工場から始まった衛藤産業は、地域のニーズに応じて、有機質肥料製造販売、園芸用資材販売、産業廃棄物収集運搬業、産業廃棄物処分業、農業経営と発展してきました。今、地域で何が求められ、時代に何が必要かを常に見極めて来た衛藤産業が、現在、最も推進していることは堆肥製造機能の充実、儲かる農業生産、販売の構築です。その一環として農業後継者の育成にも力を入れ、中国からの研修生も受け入れています。存在することに価値のある企業として、これからも地域の人々に役立つ企業を目指しています。

←化学合成されていない安全安心な有機肥料「みのり」を製造販売



所 豊後大野市大野町大原554-2
 ☎ 0974-34-2114
 営業 8:00~17:00
 休 土・日・祝日 有



こだわりの手法と新しい感性から生まれる酒と焼酎

■酒類製造・小売業
丹誠酒類 株式会社



原尻の滝と水路の町で知られる緒方町の山間に、明治初期から伝わる酒蔵があります。全国の焼酎ファンに愛される「荒城の月」は、ここ丹誠酒類から生まれました。湧き出る清流と豊かな米所の地で、酒造り・焼酎造り一筋に取り組みながら新商品を開発。伝統の手作りを守りながら、時代に似合う親しまれる商品を丹念に造り上げ、全国に発信。そのこだわりが評価され、熊本国税局新酒鑑評会で麦焼酎「荒城の月」が2年連続優等入賞。緒方のチューリップ祭りに出かけたら、ぜひ、立ち寄りしたい酒店です。

←フルーティーな香りの優しい純米酒は女性に人気



歴史を感じさせる木造りの店構え

所 豊後大野市緒方町下自在519-1
 ☎ 0974-42-2125
 営業 8:00~17:00
 休 第2第3土・日・祝日 有



スポーツを愛する者たちが集う、ノーサイドのスポーツ合宿所

■スポーツ研修施設
有限会社 久住スポーツ研修センター



九重連山を見渡すダイナミックなロケーションを活かした合宿所は、その景観だけでなく他の合宿所にはない魅力を備えています。合宿に会する様々なチームが一つに交わる解放感あふれる雰囲気、整えられた設備と使いやすいグラウンド、地元の婦人たちによる手作り料理…より良い環境作りを徹したラグーマン、鷲司所長の情熱と真剣さが隔々まで行き渡っています。全国の高校・大学のラグビーチームならず、陸上チーム、さらには一般研修まで受け入れるという、どこまでもノーサイドの合宿所です。

←春、夏の合宿シーズンは選手たちの若い熱気にあふれ、地域の人々にも活気を与えている



所 竹田市久住町栢木607
 ☎ 0974-77-2295
 営業 24時間体制で受付
 休 年中無休 有



お年寄りから子どもまで、三世代家族が楽しめる店づくり

■飲食業
有限会社 深川



「たまには家族で外食を」。そんな時に嬉しいのが「深川」です。佐伯市内に宴会、冠婚葬祭に対応した店を始め、ファミリーレストラン2店舗、昨年の秋には中津市にも出店しました。和食中心ですが、大人だけでなく、子どもも喜び、若者にも充分満足できる多彩なメニューが勢揃い。特に人気メニューは、佐伯市ならではの郷土料理ごまだしうどんです。手打ちそば、うどんの店として創業しただけに、そのこだわりのおいしさは格別。いつでも、誰にでも楽しんでもらえるようにと、ごまだしうどんまで備えた細やかなサービスが、市内外から訪れるお客様に喜ばれています。

←世代を超えた人気メニュー「おたのしみ御膳」



所 佐伯市新町3-24(新町店)
 ☎ 0972-22-0327
 営業 平日11:00~14:00・17:00~22:00
 土・日・祝11:00~22:00
 休 年中無休 有



佐伯のイキの良さをお届けします

■海産物小売業
有限会社 吉田海産



イキがいい、質がいい、味がいい。それが吉田海産の海産物です。佐伯港のすぐ近くに位置する吉田海産は、代々、佐伯の人々と共に歩んできました。出荷は北海道から沖縄まで。県南の豊かな海の味を全国にお届けし、一人でも多くの人に佐伯を知ってもらいたいと、この夏(平成22年)完成を予定して、ただ今佐伯市コスモタウン内に新店舗を建設中。店は直売店と食堂がメイン。「イキの良さを届けますのでお楽しみに」と吉田社長の言葉通り、また一つ、佐伯の美味しい名所が増えるようです。

取引先の方と雑談を交えて商談に臨む、2代目の吉田高廣社長



癒しのカリスマ

B・B・C長湯 支配人 佐藤 美樹さん



■会社データ
B・B・C長湯
 事業内容：B(ベッド)・B(ブレイクファースト)・C(カルチャー)の長期滞在型宿泊施設
 本社：竹田市直入町大字長湯7788-1
 TEL:0974-75-2841

お客様が「ただいま」と帰って来られるような場所にしたいですね。

木立に囲まれた小さな図書館付きの長期滞在型ホテル「B・B・C長湯」が、今静かな人気を呼んでいます。そのホテルの管理運営を任されているのが支配人の佐藤美樹さん。穏やかな微笑みと、ふんわりとした温かさを醸し出す彼女は、まさに「癒しのカリスマ」。「長期滞在型ホテルで心地よく過ごしていただけるように、お部屋にアロマを焚いたり、コーヒーをゆっくり飲んでもらったり、お客様のじゃまをせず、さりげないフォローを心がけるようにしています。理想は別荘のような感覚で同じお客様がただいまと帰って来られる宿。接客しながら、日々お客様に教えていただいています」と笑う佐藤さん。この笑顔に触れれば、何度でも帰って来たくなりそうです。